

PCI Express – Serial RapidIO Bridgeボード

■特長■

- ・PCI Express–Serial RapidIO Bridge : Freescale MPC8543
- ・PCI Express : 2.5Gbps (Gen1) X4Lane /XMC用コネクタ
- ・Serial RapidIO : 2.5Gbps (Gen1) 4XLane /Infiniband用メタルコネクタ
- ・フォームファクタ : XMCボード(シングルワイド)

■仕様■

ブリッジ	デバイス	Freescale製MPC8543
メモリ	ブートROM	512kバイト、FLASHメモリ
	SRAM	512kバイト(Debug用 ※量産時未実装)
フロントパネルI/O	Serial RapidIO	1ポート、4X(2.5Gbps)レーン RapidIO Interconnect Specification, Revision 1.2 InfiniBand用(4x)メタルコネクタ HONDA製HIB-A16LFYGA 光/メタルケーブルを切替設定不要で使用可能 (光ケーブルの場合、AdXMC1568から光ケーブル(内蔵されているO/E & E/O変換部)に電源を供給) ※活線挿抜不可
オンボードI/O	RS-232C	1ポート、デバッグ用、TX/RXのみサポート 使用コネクタ HIROSE製DF13-3P-1.25V 相当品 ※使用する際はコネクタ変換治具が必要(DF13→D-sub 9pin変換)
操作スイッチ	DIP-SW	3ビット、スライドスイッチ ・sRIOホスト/エージェント切替用 ・Spread Spectrum Clocking対応/非対応切替用 ・RapidIO System Size切替用
		8ビット、スライドスイッチ ・PCIeメモリ領域設定用(sRIOホスト設定時のみ有効)
その他	Spread Spectrum Clocking	対応 ・PCIeホストI/FがSpread Spectrum Clocking対応/非対応の何れであっても動作可能
	INTA#	sRIO割り込み発生時INTA#を出力可能 ・XMCコネクタ(P6)のUDピン(C列1番)にINTA#を割り付け ※1.2
	sRIO_RST#	sRIO経由のソフトリセットを出力可能 ・XMCコネクタ(P6)のUDピン(C列2番)にsRIO_RST#を割り付け ※2
XMC	規格	IEEE1386.1-2001 ANSI/VITA42.3-2006 PCI Express Base Specification Revision 1.1
	レーン数	X4(2.5Gbps)
電源仕様	入力電源電圧	5V±5%
	消費電流	5V max 1.5A ※設計予測値
環境仕様	使用温度範囲	0~50℃
	使用湿度範囲	35~85%RH(結露しないこと)
	保存温度範囲	-10~60℃
	保存湿度範囲	90%RH以下(結露しないこと)
機械的仕様	カード形状	74.00 x 139.00mm(シングルワイドメザニンカード)
	重量	100g
その他	RoHS指令	対応
	CEマーキング	対応(EMC指令)予定

*仕様は予告なく変更されることがあります。

※1: VxWorksではMSI(Message Signaled Interrupt)を使用することが出来ないため
sRIOからの割り込みは、ブリッジ(MPC8543)にてINTA#に変換後CPUに通知する事が可能です

※2: UDピン(User Defined)
XMC規格で定義されている、ユーザー定義の端子として使用可能ピン

PCI Express – Serial RapidIO Bridgeボード

■ブロック図■

